

## 平成19年7月受託研究審査委員会の結果について

受託研究審査委員会第2委員会  
委員長 是恒 之宏

先に申し込みのあった新規自主研究、継続自主研究について独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター受託研究取扱規程第4条第1項、国立病院機構 大阪医療センター受託研究審査委員会細則第5条第1項および同第5条第3項に基づき、平成19年7月24日審議を行った。

新規自主研究「血液凝固異常症全国調査」、「HIV 感染の認知と治療待機期間という新たな視点からの感染対策研究」、「Febrile Neutropenia (FN)におけるドリペネム (DRPM) 点滴用の有効性と安全性の検討」、「切除不能・再発肝内胆管がんに対するシスプラチン肝動注製剤による肝動注化学療法－臨床第Ⅱ相試験－」については修正の上承認、「漿膜浸潤胃癌における腹腔洗浄液遺伝子診断の臨床的意義に関する研究～多施設前向き研究～」については却下とした。

安全性に関する報告1課題については承認とした。

実施計画書記載内容等変更報告17課題については変更を承認した。

継続自主研究17課題については、特に問題なく継続実施を承認した。

国立病院機構本部の臨床研究中央倫理審査委員会にて実施承認を得て当院にて実施する臨床研究1課題について、当院迅速審査にて実施承認されたことが報告された。